

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合支援センター(学生活動支援機構)
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものである
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2011年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価		
		2011	2012	2013
1. 学生支援相談(カウンセリング)に指導助言を行なう教員3名(副長1名、センター委員(2名))、キャンパス自立支援(障がい学生支援)に指導助言を行なう教員4名(副長1名、センター委員(3名))を配置する	委員の配置状況 評価基準: A→5人 B→3～4人 C→1～2人 D→0人		A	
2. 環境を配慮した面接室(自然採光、防音設備、プライバシー確保、適度な広さ<15㎡以上>)に改善し合計4室確保する。	適切な環境の面接室数 評価基準: A→4室 B→3室 C→1室～2室 D→0室		D	
		☆		
2012年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2011	2012	2013
	→			
	→			

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年度の指導助言を担当する教員体制は計画通りの人員を確保できている。しかし2013年4月時点では、学生支援相談室担当教員が1名欠員のままであり、現在選考を進めている。一方キャンパス自立支援室担当教員について2012年度中に担当教員を1名増員することを大学で了解を得、2013年9月からはキャンパス自立支援室担当教員は5名の配置となる。
目標2	西宮上ヶ原キャンパスの面接室は、環境としては好ましくない2部屋しかなく、学生サービスセンター3階の会議室を借用したり、キャンパス自立支援室の会議室を借りている状況である。また、面談予約も面談室が足りないため1週間先の予約になることも度々発生している。面談室の確保は緊急課題であり、今後、機構長室会を通じ提案を行なっていく予定である。
備考	